
詩集～愛の言葉～

橘 凜夏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩集～愛の言葉～

【著者】

Z0536Z

【作者名】

橘 凜夏

【あらすじ】

普段趣味で書いている詩を載せてみました。

歌詞のつもりで書いたものであったり普通の詩であったり色々です！ 内容は恋愛モノ中心ですが、重いものから軽いものまで様々です！ 黙作で申し訳ないですが、よろしければ見てみてください。

ありがとう

ちゃんと見送りつ

最期まで

涙は我慢

だつて決めたから
君が一番辛いのに
君が一番笑うから
僕も笑おうって
笑つて見送りうつて

だから

それまでは泣いちゃダメだ
君が一番辛いのに
君は絶対泣かないから

君の最期の瞬間

もうじき命の灯が消えることを察した

君の目には涙が浮かんで
それでもそつと微笑んで
「ありがとう」
そう僕に囁いて
君は永遠の眠りについた

僕は冷たい君の手を握り
頑張つて笑つて
でもどうしても涙が出て
唇かみしめ
天国の届くよつて

強く言った
「ありがとう」

ありがとう（後書き）

私は15年的人生で大切な人々と2回経験しました。
どちらも大泣きました。

そのうち一方は祖父の死でした。その時の火葬場での兄の言葉は今
でも忘れられません。

「最後は笑つて見送りたかったのに…泣いちゃったよ…」
この詩の「僕」と「君」は恋人同士のつもりで書いてますが、脳内
にはこの言葉が浮かんでいました。

最初からこんな重いこと書いて申し訳ですが、載せるならこれかな
つて思つてたのでこれを最初に載せました。

次の更新はいつになるかわかりません・・・汗

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0536z/>

詩集～愛の言葉～

2011年12月1日23時47分発行